

指導者 小島 健次 (T1)

保田 典子 (T2)

## 主題について

## ねらいとする価値

高学年児童の段階では、小学校の高学年という自覚をもち、学級や学校、身近な集団を愛する心を具体化できるようにすることが必要である。特に学校における学級集団、児童会やクラブ等の異年齢集団だけでなく、地域社会においても、遊び仲間や各種少年団体等の身近な集団において、自分の立場やその集団の向上に資する自分の役割、個人の力を合わせチームとして取り組んでこそ達成できることなどを自覚して、様々な活動に積極的に参加できるようにしていくことが重要である。様々な集団での活動を通して、集団を支えているのは、自分たち自身であるということに気付かせると同時に、集団における自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする態度を養うことがねらいである。

## 児童の実態

- ① 本学級でこの価値項目での学習は初めてとなる。これまでの他の価値項目での学習では、大切なことは分かっているが、行動にとまわらない、深い思考になりきれていない、自分の事として考えきれていない様子が伺える。
- ② 本学級では、5年生になって委員会活動が始まり、現在、意欲を高めて取り組んでいる。しかし、学級の当番活動においては、これまでも実施してきていることで新鮮味もなく、また、当番活動の必要性もあまり感じていないので、自分の役割として認識が低く、忘れていても気が付かないことが多い。
- ③ 道徳科の時間では、自分の考えをなかなか積極的に述べることができない児童が多い。しかし、ワークシート等には自分の考えをしっかりと書ける児童が多い。

## 教材について

本主人公は、環境委員会に所属し、玄関のプランターと花壇の水やり、腐葉土の水かけの仕事を引き受ける。はじめのうちは全ての仕事をきちんとやっていたが、友達の誘いや自分の都合を理由に委員会活動の仕事をしなくなってしまう。「たぶん大丈夫だろう」と言い訳をして、やらないで済ませていた。ある放課後、体育委員会の仕事を一生懸命にしている友達を見て、主人公はこのままではいけないと気付き、これまでの自分の無責任さを反省し改めることを決意するのである。主人公の言動や気持ちの変化を捉えさせることを通して、役割を果たすために大切なことについて考えさせたい。

## 考え、議論する道徳科の時間を充実させるために

## ○ 道徳的価値を捉え、自己の生き方を深める発問の工夫

導入では、「あなたは集団の中でどのような役割がありますか。」という問いを投げかけ、児童にこれまでの自分の生活経験を振り返らせ交流することを通して、ねらいとする価値への方向付けを行う。

展開前段では、主人公が環境委員会になり始めは張り切って仕事をしているが、友達の誘いや自分の都合を優先させ段々と仕事をしなくなっていくときの気持ちを共感的にとらえさせ、誰もがそのような心理状況や行動をとってしまうことがあることを押さえておく。

次に、体育委員会の児童が、主人公がこぼしてしまった石灰の後片付けをしている場面から、役割をきちんとしている友達もいること、自分がこぼしたのに、体育委員会の役割として片付けてくれていることに気付かせたい。さらに、補助発問として、役割を果たさないことは、他人への迷惑にもなることへつながることへも押さえていく。

中心発問では、自分の役割を果たしていないことに気が付いた主人公が急いで花壇に向かって走っているときの気持ちを考える。自らの無責任さや役割を果たさなかったときの罪悪感等に気付かせていきたい。そして、さらに、「緑は学校のじまん」であることから、役割の大きさやなぜ高学年になったら委員会活動があるのか、集団での立場の変化等についても深く考えていけるようにしたい。その際、ワークシートの活用やペアトークの場を設定することで、児童が自分の考えを明確にもち、友達の考えと比較しながら多様な考えに触れることができるようにしたい。

展開後段では、自分の生活を振り返り、集団の一員として役割を果たすために大切なことは何かということを考えさせ、集団を支えているのは自分自身なのだという自覚や積極的に役割に関っていくことの大切さに気付かせたい。

## ○ 特別活動と道徳科の授業を関連させ、体験活動を生かした道徳科学習プログラムの作成

児童は、高学年になり、あらゆる場面でリーダーシップを取ることが求められる。特別活動として当番活動や委員会活動は、学級集団での役割から学校全体の役割へと立場が違ってくる。それぞれの立場で役割を果たすことの意味を振り返ることで、役割を果たすことの必要性や重要性に気付かせていきたい。

## 本時の学習

### (1) 本時のねらい

主人公の行動を共感的に考えさせることを通して、集団の中で自分の役割を果たすことの大切さに気づき、主体的に責任を果たそうとする態度を養う。

### (2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □発問の工夫 *評価
導入	<p>1 集団の中での自分の役割について考え、本時の学習テーマを捉える。</p> <p>○集団の中であなたはどんな役割がありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・○○係。</li> <li>・○○委員会。</li> <li>・家族の手伝い。</li> </ul>	<p>◇これまでの自分の生活経験を振り返らせ、交流することで、本時のねらいとする価値への方向付けを行う。(T1, T2)</p>
展開	<p>2 教材「かれてしまったヒマワリ」を読んで考える。</p> <p>○段々仕事をしなくなったとき「ぼく」はどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・めんどくさい。</li> <li>・他のことがしたい。</li> <li>・塾の日は仕方がない。</li> </ul> <p>○人がこぼしている石灰を片付けている二人を見て、ぼくはどんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申し訳ない。</li> <li>・謝りたいけど勇気がない。</li> <li>・あの二人が怒るのもむりない。</li> <li>・あの時片付けておけばよかった。</li> </ul> <p><b>補助発問</b> なぜ、二人は自分がやっていないのに石灰を片付けるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役割だから。</li> <li>・任された役割をしっかりとやろうと思っているから。</li> </ul> <p><b>補助発問</b> こぼれたままでこの二人が片付けな</p>	<p>◇緑が多いことが学校の自慢。花が枯れたら目立つところに花壇があるなど仕事の重要性を押さえるようにする。</p> <p>◇登場人物の状況を確認し、「ぼく」の心情に寄り添って考えられるようにする。(T1)</p> <p>◇二人の行動を見て自分の行動を振り返っている主人公の気持ちに共感できるようにする。(T1)</p> <p>◇責任を果たさないことは他の人へ迷惑がかかることやそんな状況でも役割を果たすことが必要なことに気付かせる。(T1)</p>

集団の一員としての役割について。

#### □発問の工夫（共感的な発問）






「ぼく」の行動を共感的に捉えさせることで、自らの無責任さや罪悪感に気付かせ、役割の大きさや集団での立場の変化について考えることで、役割を果たすことの大切さに気付かせたい。

展 開	<p>           かったらどうでしょうか。            ・次の人が気持ちよくない。            ・次の人が困る。            ●急いで花壇に向かっているとき「ぼく」はどんなことを考えていたでしょう。            ・枯れていたらどうしよう。            ・仕事をなまけていた。            ・ぼくは無責任だった。            ・大切な役割だったのに。            ・ぼくがやらなければだれもやらないのに。         </p>	<p>           ◇児童の考えを共感的に聞き、多様な考えが出るようにする。(T1, T2)            ◇ワークシートに書く活動に取り組みさせた後、ペアで自分の思いを交流させる。学級全体で話し合い多様な考えに触れさせる。(T1, T2)            ◇集団の中での役割の大きさや役割の必要性に気付かせるため、「大切な役割なのはどうか」や「委員会活動は何のためにやるのだろうか」と補助発問をしていく。            *「ぼく」が急いで花壇に向かう行動や心情を捉えることを通して、役割を果たすことの大切さについて考えていたか。            (発言・ワークシート)         </p>
	<p>           3 自分の生活を振り返って集団の一員として役割を果たすため大切なことを考える。            ○集団の一員としての役割を果たすために大切なこととはどんなことだと考えますか。            ・自分の仕事を忘れないこと。            ・任された役割は責任をもってやること。            ・最後までやること。            ・なぜ自分の役割が必要なのかを考えて行うこと。            ・集団の中で必要な役割だからこそ責任をもってやるのが大切。         </p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p><b>□道徳科学習プログラムとの関連</b></p> <p>当番活動や委員会活動など日々の生活の中で自分の役割を果たすために大切なことに気付かせ、行動の価値付けをしていくことで、次への意欲につなげていく。</p> </div> <p>           ◇事前に「仕事ができないときとはどんな時ですか」「自分の都合があるとき役割を優先させますか」のアンケートの結果を提示し、本時の学習を踏まえた役割を果たすために大切なことを考えるようにする。            ◇テーマについて問うことで道徳的価値を深めさせる。(T1)         </p>
終 末	<p>           4 本時の学習を振り返る。            ○今日の学習の振り返りを書きましょう。         </p>	<p>◇「集団の中の役割についてこれから自分ができること」を振り返りの視点として提示する。</p>

(4) 板書計画

6/22 (月4) かれてしまったヒマワリ

テーマ 集団の一員としての役わり

学校の正面げんかん

だんだん仕事をしなくなった

「ぼく」がこぼしたせつかいをかたづけしている二人

緑が多いのが学校のじまん

かんきょう委員会

げんかんと花だんの水やりふよう土の水かけ

急いで花だんに向かって走った。

役割を果たすために大切なこと

委員会活動 当番活動

・めんどくさい。  
・ほかのことがしたい。  
・塾の日はしかたがない。

・自分の役割だから。  
・まかされたんだから。  
・みんなのために。

・申し訳ない。  
・あやまりたいけど勇気がない。  
・あの二人がおこるのも無理はない。  
・あのときかたづけておけばよかった。

・かれていたらどうしよう。  
・仕事をなまけていた。  
・ぼくは無責任だった。  
・ぼくの大切な役割だったのに。  
・ぼくがやらないとだれもやらないのに。

・まかされた役割は責任をもってやる。  
・みんなが気持ちよく生活できるように仕事をやる。

・忘れないように気を付ける。  
・めんどくさい時もある。  
・時間がなくてできない。